

一誌一句(受贈誌12・1月号他より)

米田透抄出

雨後やがて陽がさす映画「羅生門」

(景象)

星野昌彦

星ひとつ供にいざなふ夜半の月

(藍花)

谷中隆子

一切は過ぎてゆくもの除夜の鐘

(暁)

桑田和子

石狩の大河のたうつ鮭嵐

(道)

田湯岬

秒針のやすやす越ゆる去年今年

(雪解)

古賀雪江

次の子を孕む母親七五三

(濃美)

渡辺純枝

急用の一人が欠けし村芝居

(玉梓)

名村早智子

水影に百万石の松手入

(あふり)

小沢真弓

着ぶくれて地産地消の茸汁

(湧)

甲斐遊糸

絶滅危惧種冬晴にたどり着く

(軸)

秋尾敏